



木の実を食べるニホンザル

撮影：北垣憲仁

もう一つは、木の実をほほ袋に詰め込み、移動しながら果肉を食べては種子を吐き出す場合です。一か所に落とされる糞と違い、広範囲に効率良く種子が散布されます。ニホンザルも種子の散布者としての役割を果たしているのです。

とは言え、群れの行動圏の湯本周辺だけでなく、宮城野や仙石原、箱根地区にも離れザルが出現することがあります。被害を拡大させないためにも、(餌を)やらザル、(食べ物を)取られザル、(出会って)かまわザルを守る必要があります。

しかし、これらは餌付けなどによって習性が変化した結果とされており、本来の姿ではありません。

ニホンザルは季節に応じて木の実や芽、葉、根、昆虫などを食べ、食物を蓄えることはありません。このため、一年を通して食べ物が得られるよう、多様な植物が生育する広大な広葉樹林を必要としています。多くの種類からなる食べ物の学習は、母親を通じて赤ん坊の頃から始まるそうです。

ところで、植物の中には、タヌキやキツネ、テンなどの哺乳類に食べられて種子を運んでもらうものもあります。ニホンザルの場合は、種子をかみ砕いてしまうこともありますが、丸飲みにした場合は糞と共に排出されます。宮城野で「すいとろぼく」と呼ばれているサルナシも糞から種子がよく出るそうです。

ふるさとの仲間たち

箱根生きもの図鑑 (31)

ニホンザル

ニホンザルは、日中目にする事ができる数少ない哺乳類です。平均的なおとなの雄は約13kg、雌で約10kgと体重は軽いものの力は強く、敏捷で高い学習能力を持っています。

ニホンザルによる被害は西湘地区でも例外ではなく、農作物を食害し、人を威嚇するなど問題となっています。

とっておきの1枚 拝見!

畑宿 館野武雄さんより
(右から3人目が館野さん)



今から53年前、昭和25年8月1日に小田急が箱根湯本駅までの乗り入れ開始を祝って、地区対抗での仮装大会が行なわれた時の1枚です。箱根神社などから衣裳を借りるのに苦労した記憶があります。箱根湯本駅から塔之沢まで練り歩き、途中で行なわれた審査で畑宿地区の「七福神」は特選を受賞しました。

若い頃のとっておきの1枚です。

皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課へお問い合わせください。

わが家のちびっ子



みらい
内堀 未来 くん(1歳2か月)

樹・奈保さんの長男(仙石原)

♥お母さんからひとこと

「いつまでもその笑顔を忘れないで
元気な男の子になってください。」

町の人口と世帯

人口	14,980 (-35)
- 12月1日現在 -	男 7,085 女 7,895
()内は前月比	世帯 7,266 (-7)



R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ごみ減量標語 カゴ持って ゴミは買わない 主婦の知恵